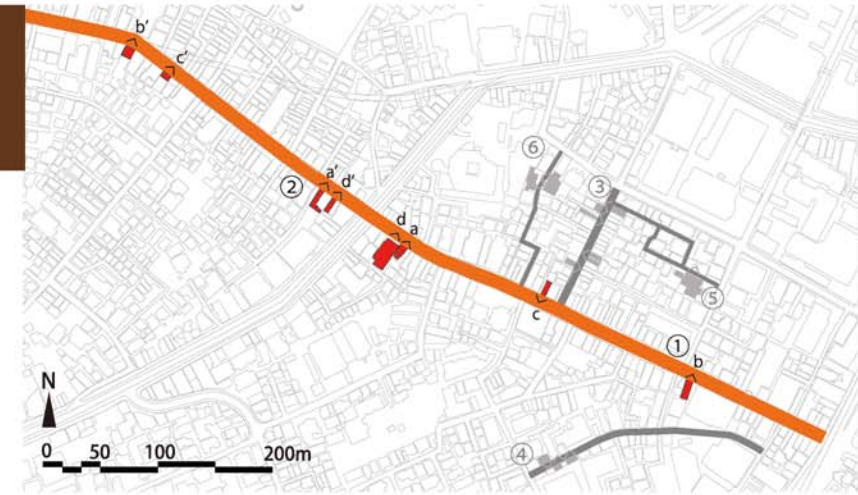


# 神楽坂地区 建築ファサード低層部 夜間景観の分析 (神楽坂通り 1~6丁目) 【街路二次景観】

2021年3月

調査・制作：芝浦工業大学環境設計研究室  
協力：NPO法人粋なまちづくり倶楽部



【建物属性】(a, b)は飲食店、(c, d)は物販店、(a, c)は個店、(b, d)はチェーン店

## ■研究の目的と背景

「街路二次景観」とは、歩行者が特に着目する、建築物の1階ファサードを正面から見た景観である。神楽坂は昼と夜とでまちの表情が大きく変わり、夜間景観がまちのひとりの魅力であるが、これまでは夜間景観の特徴は定量的に明らかにされてこなかった。そこで、夜間景観についての住民意識調査と現地調査を実施した。

- 本研究では、「照明形態」と「照明色調」を調査対象とし、壁面（1階ファサード面）全体に対するそれらの構成を明らかにした。
- 対象ファサードの写真をもとに立面図を作成し、照明の形態及び色調の構成比を求めた。

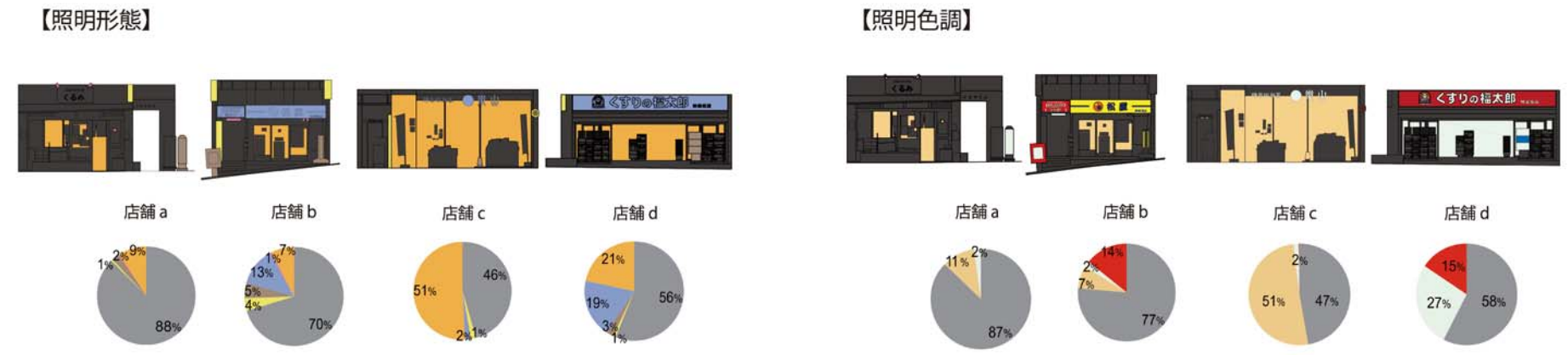
**【照明形態 凡例】**

- 突出型照明
- 置き看板型照明
- 壁面型照明
- 誘導灯・装飾照明
- 店内から漏れ出す光
- 照明なし

**【照明色（色味） 凡例】**

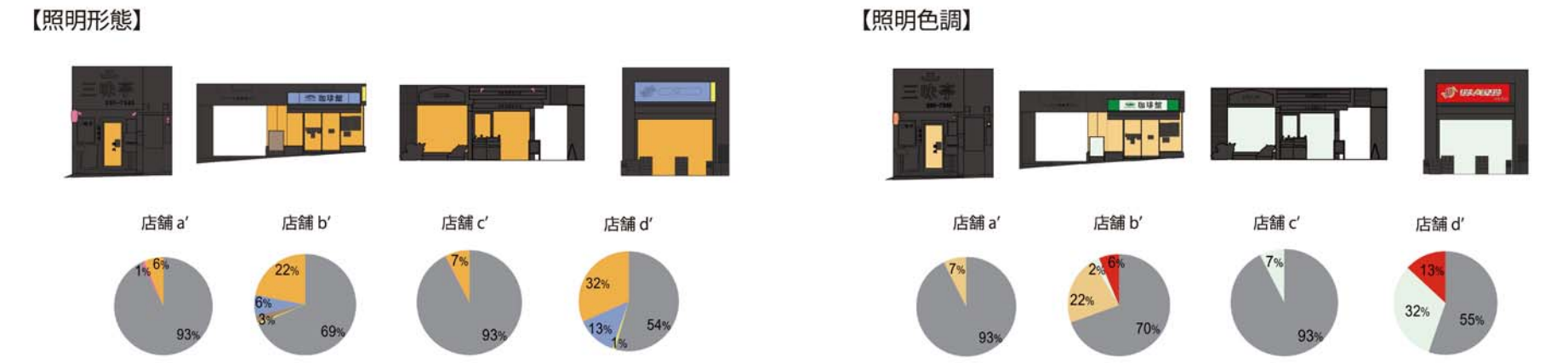
- 暖色系
- 白色系
- その他（高彩度色）
- 照明なし

## ① 神楽坂通り 1~5丁目 (調査例) ■ 照明形態分類では、「店内から漏れ出す光」、「壁面型照明」の割合が高く、色調分類では、白色系とその他（高彩度色）の割合が高い。



※ 照明形態分類では、「形態」を分類している。発光面でない部分が若干含まれている（以下グラフも同様）。

## ② 神楽坂通り 6丁目 (調査例) ■ 照明がファサード面に占める比率は神楽坂通り1~5丁目より低い。色調は、白色系とその他（高彩度色）の割合が高い。

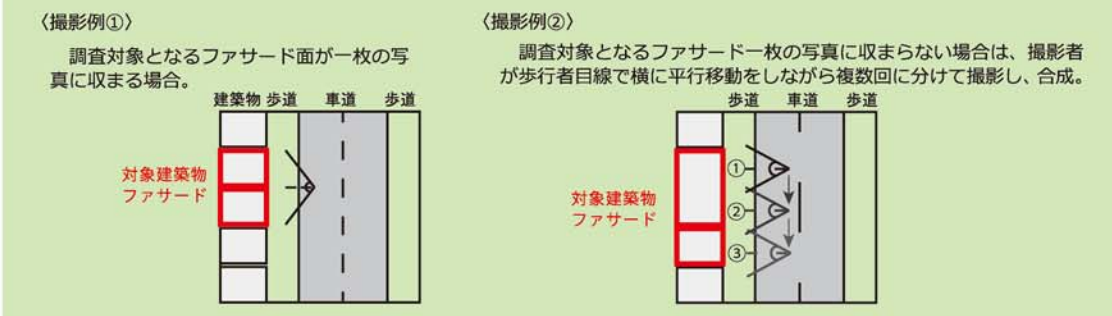


## 神楽坂通り 1~6丁目の建築ファサード低層部立面図（色調）



### 【建築物低層部ファサード（街路二次景観）の立面図作成及び写真撮影方法】

- 対象の建築物ファサードの1F軒下より下の部分を対象に、正面から撮影。
  - 歩行者アイレベルの景観を調査するため、大人の平均身長として地上1.5mの高さで撮影。
- ※二次景観（特定の対象物を注視する際の景観）において、特定物を見る方向としては斜め方向もあるが、歩行による接近、回頭動作等によりファサード面にほぼ正対した景観を認識するため、正面から撮影した写真を用いることとした



# 神楽坂地区 建築ファサード低層部 夜間景観の分析 (本多横丁、小栗横丁、かくれんぼ横丁、兵庫横丁) 【街路二次景観】

2021年3月

調査・制作：芝浦工業大学環境設計研究室  
協力：NPO法人粋なまちづくり倶楽部



## ■研究の目的と背景

「街路二次景観」とは、歩行者が特に着目する、建築物の1階ファサードを正面から見た景観である。神楽坂は昼と夜とでまちの表情が大きく変わり、夜間景観がまちのひとつの魅力であるが、これまでは夜間景観の特徴は定量的に明らかにされてこなかった。そこで、夜間景観についての住民意識調査と現地調査を実施した。

- 本研究では、「照明形態」と「照明色調」を調査対象とし、壁面(1階ファサード面)全体に対するそれらの構成を明らかにした。
- 対象ファサードの写真をもとに立面図を作成し、照明の形態及び色調の構成比を求めた。

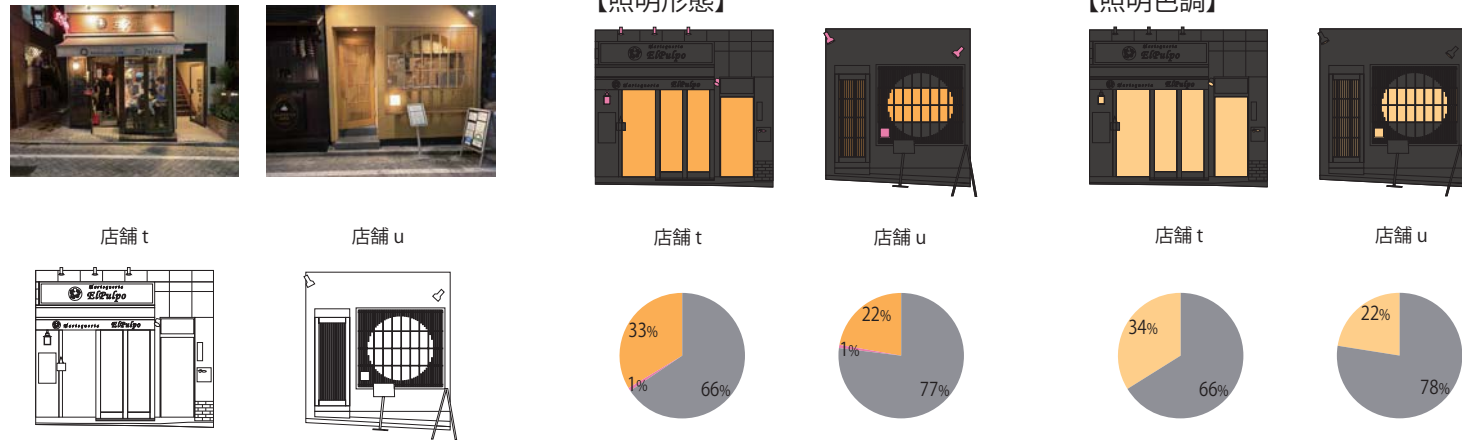
**【照明形態 凡例】**

- 突出型照明
- 置き看板型照明
- 壁面型照明
- 誘導灯・装飾照明
- 店内から漏れ出す光
- 照明なし

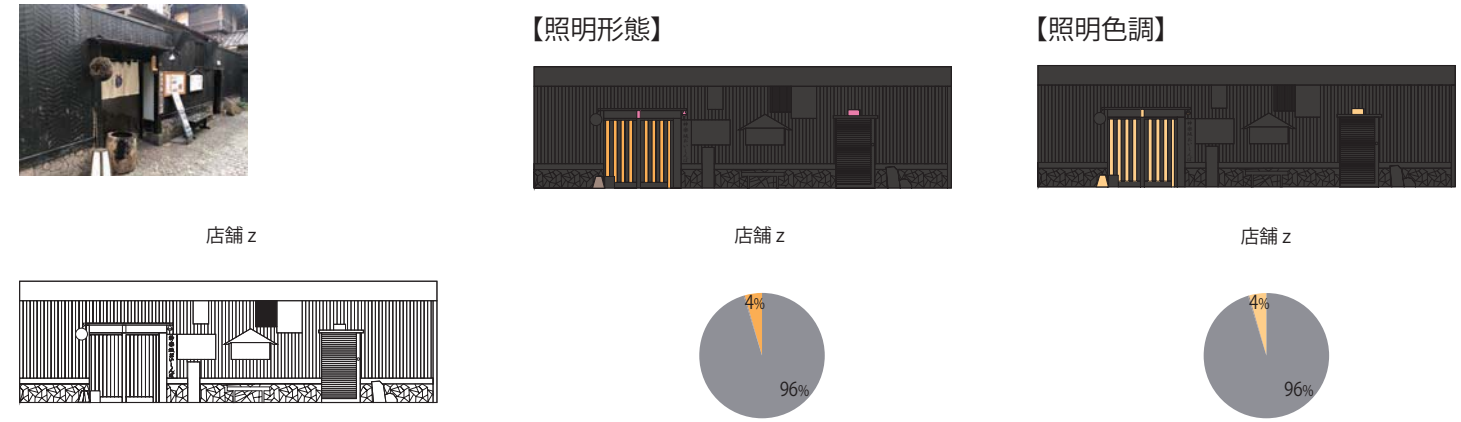
**【照明色(色調) 凡例】**

- 暖色系
- 白色系
- その他(高彩度色)
- 照明なし

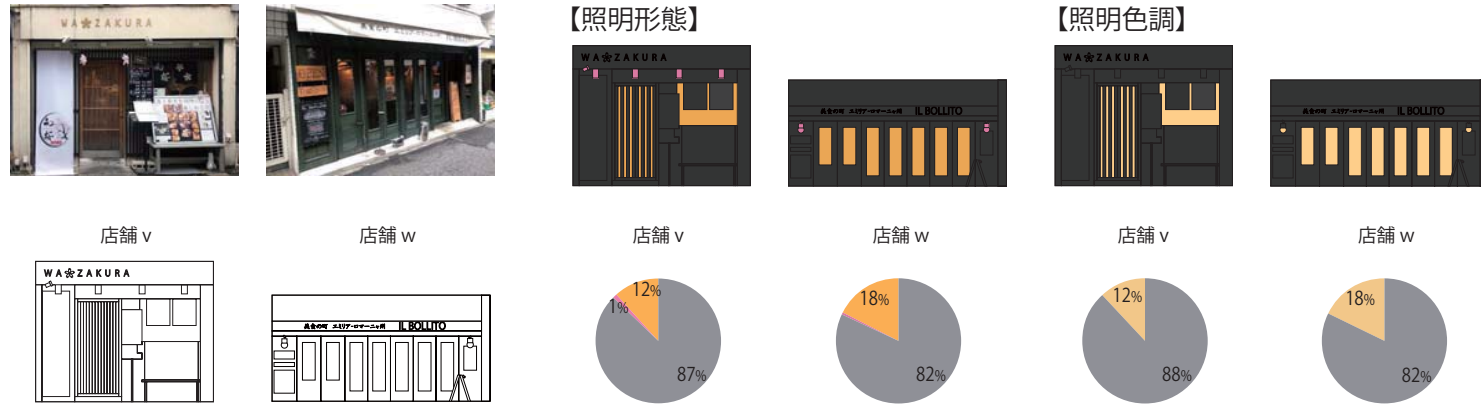
## ③本多横丁 (調査例) ■横丁の中で最も照明の占める割合が高く、色調は白色系の割合が高い。



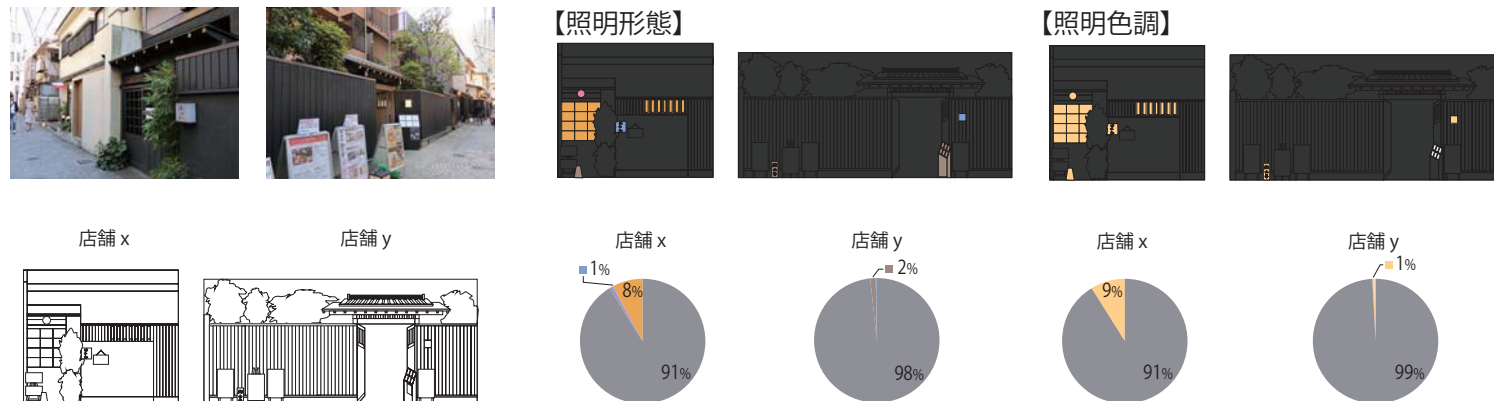
## ⑥兵庫横丁 (調査例) ■全対象箇所の中で、照明の占める割合が最も低い。



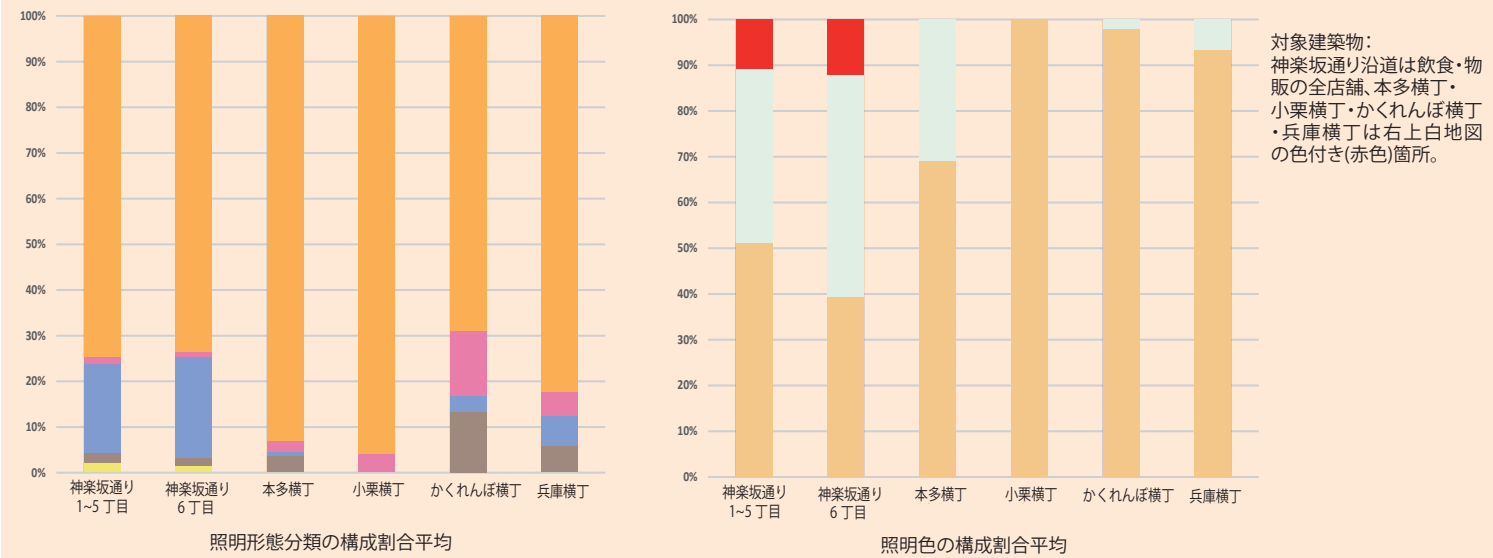
## ④小栗横丁 (調査例) ■「突出型照明」「壁面型照明」「置き型照明」が全くない。また今回の調査対象とした店舗では、色調は、全て暖色であった。



## ⑤かくれんぼ横丁 (調査例) ■横丁の中で本多横丁に次いで、照明が占める割合が高い。また、他の対象箇所と比べて「置き型照明」が多く、色味は暖色系の割合が高い。



## 地区別 低層部夜間景観の特徴とまとめ(照明形態、色調)



### ■照明形態

神楽坂通りで壁面型照明の割合が高くなっており、特にチェーン店で多く見られる。大型で高彩度色の壁面型照明、特に内照式のものによく目立つため、夜間景観の改善のために考慮すべき重要な要素のひとつである。

本多横丁では店内から漏れ出す光の割合が高く、外から店内が見渡せる飲食店が多く立ち並んでいる。

小栗横丁では照明形態の数が少なく、落ち着いた夜間景観が形成されている。

かくれんぼ横丁・兵庫横丁では置き看板型照明の割合が他の通りより高くなっているが、これは路地に多く見られる行燈が要因である。

### ■色調

高彩度色の照明が神楽坂通りのみで見られる。また、神楽坂通りでは白色系の照明の割合も高く、暖色系の割合が比較的低くなっている。

一方、小栗横丁・かくれんぼ横丁・兵庫横丁では、暖色系の割合が9割を超えている。この3つの通りはアンケート結果で評価の高い通りであることから、路地界隈の夜間景観は住民らによるまちの良いイメージに合致していると考えられる。